

どげんな! DOGENNA

動物園は No. 62



未来につなぐ
ZOOつつなぐ
50年

HIRAKAWA
ZOOLOGICAL PARK



アマミノクロウサギ

世界でも奄美大島と徳之島にしか生息しない、国の特別天然記念物です。短い耳や後ろ足、そして尾は、土に穴を掘る原始的な「アナウサギ」の特徴で、「生きている化石」の証でもあります。現在4頭の傷病保護個体を動物病院で飼育しています。彼らが当園で暮らす経緯にも、ぜひ興味を持ってみてください。

2022年11月末現在飼育動物数

種別	種類	点数
ほ乳類	79	685
鳥類	42	323
は虫類	13	36
計	134	1044

平川動物公園通信 (2022年12月1日発行)

編集: 鹿児島市平川動物公園 (TEL099-261-2326)
〒891-0133 鹿児島市平川町5699-1
動物取扱業の種類: 展示 登録番号: 生衛動取 第357号
登録の年月日: R3.5.11 有効期間末日: R8.5.11
動物取扱責任者: 桜井普子
発行: (公財)鹿児島市公園公社 (TEL099-221-5055)
「どげんな」とは鹿児島の方言で「どうですか」という意味で、今の平川動物公園の様子を尋ねています。

2023 冬のイベント情報

干支の動物 卯 に関するクイズラリー

1/2(月)~3(火)9:00~

今年の干支を中心にクイズを出題します。(正解者には記念品を差し上げます。)

対象 小・中学生(各日先着100名)
場所 どうぶつ学習館で用紙配布



平川動物公園オリジナルお守りプレゼント

1/2(月)~3(火)、7(土)~9(月・祝)

飼育員手作りの平川動物公園オリジナルお守りを各日先着15名にプレゼントします。

対象 どなたでも
場所 どうぶつ学習館



干支の動物 卯 のワンポイントガイド

1/2(月)~3(火)13:00~

干支について、飼育員が分かりやすくガイドします。

対象 どなたでもご覧いただけます
場所 ふれあいランド



ウサギと写真撮影&ふれあい

1/2(月)~9(月・祝)

- ① 11:30~(先着10組)
- ② 13:30~(先着20組)

開園時よりどうぶつ学習館で受付



干支の動物 卯 展

1/2(月)~3/31(金)
9:00~17:00

干支(卯)のパネル解説等を行います。

対象 どなたでもご覧いただけます
場所 どうぶつ学習館



うさぎ年!ぴょんつと注目 ~絶滅危惧種のクロウサギと身近なウサギ~

1/7(土)13:00~14:00

ウサギについてのお話を行い、アマミノクロウサギの特別公開も行います。

対象 どなたでも
場所 どうぶつ学習館



好きな動物に年賀状を出そう

1/1(日)必着

好きな動物への思いを書いた年賀状を募集します。いただいた年賀状は、1月2日(月)~31日(火)までどうぶつ学習館で展示

対象 どなたでもご応募いただけます。



新春!動物の鳴き声かるた大会

1/8(日)~9(月・祝)13:30~

鳴き声と動物の特徴をヒントにかるた取りを行います。(参加賞を差し上げます。)

対象 どなたでも
場所 どうぶつ学習館



平川動物公園オリジナルカレンダープレゼント

1/2(月)~3(火)、7(土)~9(月・祝)

2023年のオリジナルカレンダーを各日先着20組(1組につき1冊)にプレゼントします。

対象 どなたでも
場所 入園ゲート



動物たちの健康チェックをみてみよう

1/7(土)~8(日)

飼育係が日頃行っている健康管理のためのトレーニングや体重測定の様子をご覧ください。

対象 どなたでも
場所 各動物舎



2023年は卯(ウサギ)年!!

ウサギの豆知識

1

ウサギは英語で“rabbit”…だけではない??

平川動物公園にいる
ウサギを
紹介するよ!



ふれあい
ランド

カイウサギ

European Rabbit



リスの森

キュウシュウノウサギ

Japanese Hare



動物病院

アマミノクロウサギ

Amami Rabbit

ウサギは「ノウサギ」と「アナウサギ」に分けられます。ノウサギをhare(ヘア)、アナウサギをrabbit(ラヴィット)といいます。アナウサギは土を掘ってトンネルのような巣の中で出産や子育てを行います。土を掘ることができるように鋭い爪を持っています。アナウサギを家畜化して飼いならしたカイウサギは、土の中で出産や子育ては行いませんが、出産が近づくと母親はお腹の毛を抜いて敷き詰め、その上で出産します。一方、ノウサギは、茂みの中で出産や子育てを行います。春先から初夏にかけ、動物園もキュウシュウノウサギの子どもが保護されることがあります。

2

4頭?4羽?

動物園で動物の数を数えるときには、主に「頭(とう)」を使いますが、時々「ウサギは4羽では?そもそもなぜ鳥じゃないのに「羽(わ)」なの?」と尋ねられることがあります。私たちの身近なウサギといえば、すっかり「カイウサギ」になりましたが、昔はウサギを食用としており、縄文・弥生時代の遺跡からウサギ(ノウサギ)が出土しています。仏教が普及して四本足の動物を食べることが禁止された時代があり、それを逃れるためにウサギを「羽」と数える習慣が今も残っていると考えられています。



さわったかも
わからないような
ふわふわ感!

3

ことわざにも 出てくるウサギ

有名なことわざに「二兎を追うものは一兎をも得ず」がありますね。欲を出すと両方失う(両方失敗する)意味を、ウサギの狩りに例えたことわざです。ウサギといえば、ふわふわの毛を想像すると思いますが、その触感を例えたことわざがこちら。「卵の毛で突いたほど」ウサギの毛で突いたところで、どうにもならないことから、「全く大したことない」という意味で使われます。



4頭そろって
むしやむしや。

2023年も皆さまのご来園をお待ちしています!ピョンピョン飛躍の年になりますように!



イベントに関する情報は平川動物公園ホームページ <https://hirakawazoo.jp/> でも紹介しています。飼育員によるブログも随時更新中!
リアルタイムの情報はTwitter <https://twitter.com/hirakawazoo> で!



平川動物公園
Twitter ▶

